

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行う百寿者・超百寿者研究にご参加いただいたご本人およびご家族の皆様の血液から抽出したリボ核酸 (RNA) を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 百寿総合研究センター 職名 専任講師

氏名 新井 康通

連絡先電話番号 0352692468

実務責任者 所属 _____ 職名 _____

氏名 同上

連絡先電話番号 _____

百寿者（100歳以上の高齢者）および超百寿者（105歳以上の高齢者）はがんや糖尿病の罹患率が低く、日常生活における介護を必要としない期間が長く、私たちは健康長寿のモデルとして注目しています。その考えに基づき、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター（以下、当センター）では長年にわたり日本の百寿者、超百寿者、さらには110歳以上のスーパーセンチナリアンの研究を通じ、健康長寿の遺伝的、医学生物学的、心理社会的要因の解明を目指して研究を進めております。また、百歳以上の長寿者のご家族の方々にもご協力をいただき、長寿の遺伝と環境の研究を進めております。

日本を代表する研究機関である理化学研究所（以下、理研）は CAGE 法などトランスクリプトーム解析技術を独自に開発し、ヒトやマウスにおける遺伝子発現研究の分野で世界をリードする成果を挙げています。そこで、当センターは、理研と共同で百寿者、超百寿者、スーパーセンチナリアンの血液中の RNA 全体、および 1 細胞ごとの RNA 解析を行い、超百寿者の方に特徴的な T 細胞が存在することを論文発表いたしました（Hashimoto K, et al. Single-cell transcriptomics reveals expansion of cytotoxic CD4 T cells in supercentenarians. Proc Natl Acad Sci U S A. 2019 Nov 26; 116(48): 24242-24251. doi: 10.1073/pnas.1907883116. Epub 2019 Nov 12. PMID: 31719197）。

そこで、本研究で解析させていただいた RNA の配列情報を、日本の公的データベースである国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）に登録させていただきます。登録を行うことによる研究参加者の皆様への新たな負担は一切ありません。また研究参加者の皆様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2017 年 5 月 15 日より 2019 年 9 月 30 日までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センターが行う百寿者、超百寿者研究にご参加いただいたご本人およびご家族の皆様の血液サンプルを用いて理化学研究所との共同研究により 1 細胞ごとの RNA 解析を行った方。

2 研究課題名

承認番号 20021020

研究課題名 包括的国際百寿者研究 健康長寿達成に向けて：第 1 部 寿命関連遺伝子（長寿遺伝子）と加齢関連遺伝子の同定

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター

共同研究機関

理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム機能医科学研究部門

理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム機能医科学研究部門

研究責任者

Piero Carninci (部門長)

橋本浩介 (専任研究員)

既存情報の提供機関

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC)

提供者

4 本研究の意義、目的、方法

認知症や動脈硬化症、フレイルなど老化に伴う病気や機能低下は世界的な健康問題となっており、健康長寿研究の発展は国際的にも重要な課題です。近年、医学雑誌編集者国際委員会 (ICMJE) の声明にあるように、国際ジャーナルに発表された研究結果およびその根拠となる元データは公的データベースに登録され、確立された研究者によるデータ共有、新たな研究への活用が強く推奨されています。今回、理化学研究所が行った 1 細胞レベルの RNA 発現解析研究の結果、110 歳以上のスーパーセンチナリアンの方では特徴的な T リンパ球が増加していることが明らかにされました。これは高齢になっても免疫の働きを保つうえで重要な意義を持っている可能性があります。今後、さらに研究を進める必要がありますが、そのためには世界の研究者に解析データを活用してもらい、より専門的な見地からの新たな発見が期待されます。そこで理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム機能医科学研究部門で解析した超百寿者の方 およびご家族の方々の血液細胞 1 細胞ごとの RNA 配列を国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) に登録させていただきます。

5 協力をお願いする内容

超百寿者の方 7 名、およびご家族 4 名の方々の血液細胞 1 細胞ごとの RNA 配列を国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) に登録させていただきます。NBDC では、世界の研究機関で倫理審査会に承認された確立された研究者にのみ、登録デー

夕を共有します。これにより、健康長寿と遺伝子発現の研究が発展することが期待されます。

なお、超百寿者の方は稀少ですので、本データを用いた解析結果を論文等で発表する場合には、個別のサンプルについて SNP 等の遺伝情報を示さない等の制限をつけたデータ共有とします。

今後も本研究からの解析結果が科学雑誌などに公開されるときには、研究結果が本当に正しいのか第三者の研究者が検証したり、研究結果を応用してさらに健康長寿研究を発展させる目的で、公的データベースに登録され、確立された研究者に公開されることがあります。

6 本研究の実施期間

西暦 2015 年 11 月 27 日 より西暦 2021 年 06 月 30 日 まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究では、研究参加者の皆様の個人情報（氏名、生年月日、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う研究参加者の皆様の血液から抽出したリボ核酸（RNA）は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 研究参加者の皆様の個人情報と、匿名化したリボ核酸（RNA）を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、すでにご提供いただいた血液サンプル抽出した RNA の解析情報を NBDC の公的データベースへの登録の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

<お問合せ先>

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部・百寿総合研究センター・新井康通、広瀬信義（元特別招聘教授）

電話番号およびファックス番号：03-5269-2468（直通）

E-mail : yasumich@keio.jp 新井康通

以上